

2016年2月1日

国内の医療機器市場、2014年は2.9兆円で過去最高

2014年の国内の医療機器市場が前年比7.2%増の2兆8675億円と、過去最高を更新したことが、政府の調査で判明した。

政府は医療機器分野への新規参入を後押しし、2020年頃までに市場規模を2014年比で約10%増の3兆2000億円に拡大させる目標を掲げている。

特に伸びが大きかった医療機器は、

- ・ペースメーカーや人工呼吸器、針などの「治療系」の機器で、9.5%増の1兆5438億円。
- ・内視鏡やコンピューター断層撮影装置(CT)などの「診断系」は、1.6%増の7075億円。
- ・輸出額も8.7%増の5767億円と過去最高となった。

国内では、成長が見込める医療機器市場に、自動車部品や化学、繊維など異業種からの新規参入が増えている。政府は、日本医療研究開発機構(AMED)を通じて臨床試験や販路開拓、特許取得などの支援を行っており、産業の裾野を広げていく方針だ。

以上